

分科会の記録 <第4分科会 組織・運営に関する課題>

【提言者1】北海道 室蘭市立天神小学校 難波 茂伸

【提言主題】チームとして推進するカリキュラム・マネジメント

－ 組織力の向上と人材育成における教頭の役割 －

【協議の柱】

カリキュラム・マネジメントを推進するために、組織力の向上と人材育成に副校長・教頭としてどう関わっていくのか

【グループ協議 報告】

提言を受け、20のブレイクアウトルームで「継続性」、「協働性」、「関与性」の3つの視点をもって協議が行われた。協議では、年齢構成のバランスが取れている学校もあれば、「50代以上のベテランが多い」、「中堅層が少ない」、「20代が半数」「年齢の二極化」など、職員構成の現状が報告された。また、「20代で学年主任をしないといけない学校もある」、「講師が多く、入れ替わりが激しい」など組織が抱える課題も報告された。「組織力向上と人材育成」については、「組織力向上のために、職員との協働性を高めることを大切にしている」、「学年主任会を設け、若手教員の状況を共有しながら、若手の指導についてベテラン同士で学んでいる」など、組織力向上と人材育成についての副校長や教頭としての心がけや実践が紹介された。

また、若手の育成が急務であることやキャリアステージに応じた人材育成を進めていくこと、教頭や教務が中心になるのではなく、メンター、メンティーに分けて効率よく育成を進めていく必要があることなど、多くの意見が出された。あわせて、管轄教育委員会などが行う研修や教育委員会作成のキャリア育成プランをもとにした取り組みなども紹介された。

協議の中では、「課題に応じた研修や必要感のある研修を実施するためにどうやって時間を確保するか」、「それぞれのステージにおける助言の仕方や職員とのコミュニケーションのあり方をどのようにすべきか」など、副校長や教頭が抱える課題や悩みも共有することができた。

【指導助言：全公教顧問会】（埼玉県三郷市立彦郷小学校長 加藤 景子 氏）

「つなぐ、いかす」をキーワードに指導助言をいただいた。組織力については、校長、副校長、教頭、主幹教諭、教務のチーム力に大きく関わることやどのような組織を作っていくかなどについて助言された。また、ベテランから若手に今までやってきたものを伝えていくこと（メンター制度）が必要であること、職員に学校運営に参加する意識をいかにもたせるかなどもお話しいただいた。

さらに、「魅力ある学校づくりは、魅力ある副校長や教頭からの意識をもつこと」、「人、もの、ことなど資源を活用すること」など、副校長や教頭として大切にしてほしいことを伝えていただいた。

【指導助言：佐賀県】（佐賀県西部教育事務所長 平井 敏博 氏）

カリキュラム・マネジメントについて話をされ、その中で「社会に開かれた学校」を目指して保護者や地域、関係機関が分かるようなカリキュラムを提示することが大切であることを助言いただいた。

また、「職員会議をいかに学びの場にするのか」、「学校評価や人事評価と結びつけたものにするのか」などを助言いただくとともに、「発想を転換する」、「管理職として鳥瞰的、俯瞰的に関わること」、「教育活動の断捨離を行うこと」などについて組織力向上、人材育成において心がけていくことなどを示唆していただいた。